

らんじゅほうしょう
藍綬褒章 受章の報告と御礼の御挨拶

謹啓

皆様には益々御清祥のこととお慶び申し上げます。

この度平成二十六年度春の褒章にさいし、天皇陛下より「らんじゅほうしょう藍綬褒章」の拝受の栄に浴しました。

五月十六日に皇居において天皇陛下の拝謁の栄誉を賜り深く感謝をいたしております。

この栄誉は私、個人がいただいたというより御諸兄の御支援のたまものとあらためて御礼を申し上げます。

思い起こせば少年の頃、神社の境内や野山を駆けめぐって遊んだ「チャレンバラごっこ」を現代風のスポーツとして「安全」と「公平」そして「自由」を旗印に世界中に普及し、世界の同志四十数か国四十万人以上の愛好者がいる団体となり、これらの活動が国家に認められたものと、これ以上の「力強い後押し」はないものと万感の思いでございます。

また先には国より「新公益社団法人」に認定され、さらに体育の殿堂である「公財日本体育協会」そして「公財日本レクリエーション協会」にも正式加盟させていただき、益々順風満帆に発展致しております。これからは公開競技から、さらにはオリンピックにと夢は大きく、世界を目指すという責任を深く感じております。

なお一層の努力邁進する所存でございますので皆様の多大なる御支援を賜りますよう御願ひ申し上げます。まず「らんじゅほうしょう藍綬褒章」受章の報告と御礼の御挨拶を申し上げます。

謹白

平成二十六年五月吉日

公益社団法人 日本スポーツチャレンバラ協会
国際資格認定団体 国際スポーツチャレンバラ協会

会長 田邊哲人



田邊会長の生家横にある阿蘇宇神社に建立された
スポチャン発祥の碑
右 田邊哲人会長 (左 元望月町長)